



東北新幹線災害復旧工事（福島・仙台間、仙台・古川間）

2月13日に発生した福島県沖地震では、東北新幹線の電車線路設備においても電柱折損などの甚大な被害が生じました。

当社は、早期運転再開を目指して、東北支店および鉄道統括本部の総勢130名が一丸となり、福島・仙台間および仙台・古川間の復旧工事を担当しました。

復旧作業は、余震や天候不良による工程ずれ込みの懸念もあり厳しい環境となりましたが、被災箇所の電柱建植や電車線修繕を行い、2月22日の仙台・一ノ関間での営業運転再開、2月24日の全線での営業運転再開に貢献しました。

運転再開後も当面の間、一部区間での速度制限などが続きますが、当社は引き続き復旧工事に尽力することにより、安全で安心な社会インフラを世の中に提供する使命を果たしていきます。



施工の様子